



かさまつの子

笠松町道徳教育連絡会議

保育所と家庭の中で学ぶこと

四月より学校週五日制が始まりましたが、保育所では、土曜日以前と同じように午前中、子どもを預かっていただけます。私も含め、仕事を持つ多くの母親にとっては、とてもありがたいことではないでしょうか。

土曜日は、未満児から年長児まで一つの部屋で色々な遊びをします。うちの子どもも、「楽しいから休まない」と、喜んで保育所へ行きます。

子どもは保育所で色々なことを学んでいきます。歌やお遊戯、

お絵書き、工作、楽器の演奏など。一日の生活の中では、お花の水やり、朝や給食の時のあいさつ、お掃除など、当番としての自覚を持つようになってきたと思います。また、集団生活の中で、ゆずり合うことや許すこと、耐えることも、少しずつ身に付けてきているようです。

絵の具でお絵書きをする時やお掃除の時に使う雑巾を絞ることも上手になりました。

本来こういうことは、家庭生活の中で身に付けていくことな

のですが、

仕事を持つ母親が多くなり、仕事をし、家事をこなしていく中で子どもと接する時間は限られています。

うちの六歳の娘はとてもお手伝いをします。料理をしている時、お風呂掃除をしている時、アイロンをかけている時など、くっついてきて一緒にやりました。時間が無い時などは、自分でやってしまったほうが早くできるのに、と思うことや、後でやり直さなくてはならない時もあります。それでも「ありがとう。お母さん助かったよ」と言うと、子どもはとてもいい笑顔を返してくれます。

そして何回かくり返すうちに、子どもはコツを覚え、上手にできるようになります。

家庭でのお手伝いから、色々学べるがあります。それに親子のスキンシップにもなりますし、自分が家族の一員である自覚も持てると思います。

子どもはスポンジのように何でも吸収します。その中で、良いことと悪いことが判断できるような力を、保育所の生活と家庭の中で身に付けてほしいと思います。



下羽栗保育所保護者会

会長 野垣千賀子



教育委員会だより

教育電話相談

悩んだら
気軽に電話してください。
郡四町教育委員会
☎ 245 1133

現在、学校では「教科」の授業や「道徳」、「特別活動」の時間に加えて、「総合的な学習の時間」が実施されています。どんな学習が行われているのでしょうか。

「地域の川に蛍を取りもどしたい」こんなテーマで取り組んでいる中学校のグループがあります。「環境の学習」に取り組む過程で、水質汚染やゴミ問題に気が付き調査を始めました。

「総合的な学習の時間」って何やるの？

自然や環境保全に取り組むかたがたと接することで、身近な地域の環境を守ろうとする意欲を持ち始めました。更には、「蛍」と共に生きよつとする人々と出会ったことから、「地域の川に蛍を蘇らせよう」とする活動になっていったのです。

ある小学校では、「食文化を探る」をテーマとした活動の中で、米作りを行いました。

この学習を通して、食べ物に対する思いやりが深まり、残菜も少なくなったと聞いています。

「総合的な学習の時間」には課題もやり方も決まったものはありません。教科書も無いのです。

自分で見付けて、体験して調べて、解決することが重要なのです。それが、これからの社会を切り開いていく、生きる力なのです。

「総合的な学習の時間」に、地域の皆さんにお尋ねしたり、教えて頂いたりすることが多く出てくると思います。是非、ご協力ください。